

# Section 16 仮定法

- ◆ Lesson 1 (学習項目) : [1] 仮定法とは [2] 英語の過去形の意味 [3] 仮定法過去、過去完了  
[4] 仮定法過去、過去完了の用法

**Attention!**

仮定法はウソの話。ウソは過去で表す

〔ひたすら暗記〕

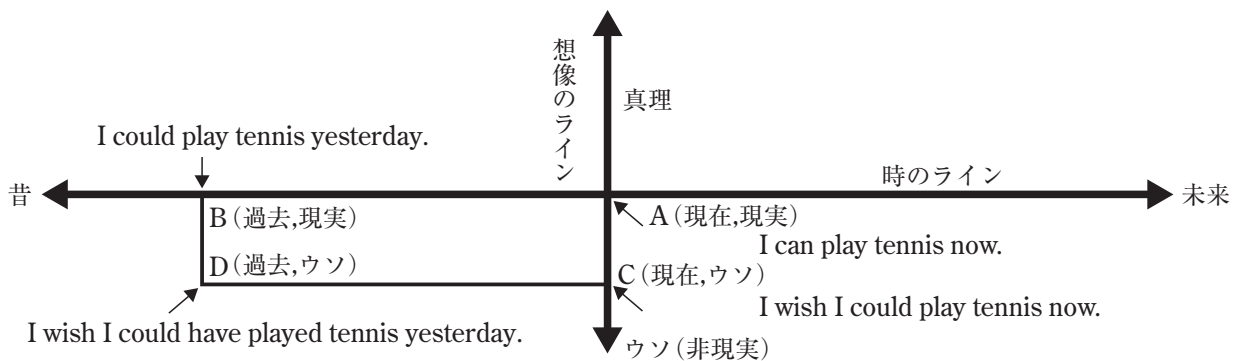
- (a) I wish my father were alive. (b) I wish I had taken Mr.T's advice. (c) Mr.T looked as if he were ill.  
(d) Mr.T looks as if he had been ill. (e) It is time I went to bed.

**[1] 仮定法とは**

英語には直説法、命令法、仮定法という3つの法があります。法とは文の表現法で、英語では原則として動詞の形で表します。直説法は事実をありのままに表現し、命令法はして欲しいことについて命令を下します。Section 16で学習する仮定法とは「事実/現実」とはうらはらに「現実ではないこと(ウソ)」の仮定をして、その結果を推量する法です。

**[2] 英語の過去形の意味**

Section 6「助動詞」で既に触れましたが、英語の過去は「昔」だけではなく、「婉曲」を表すことも出来ます。ではこの「昔」と「婉曲」の両方がなぜ「過去形」で表されるかについて考えましょう。実は、英語の「過去形」の持つ根源的な意味は「現状からの距離」なのです。つまり、「昔」は「現在」から離れており、「婉曲」も「現自分自身」から隔たっています。「婉曲」を使う相手が目上やよく知らない人の場合が多く、対人関係上離れているからです。では「現実」から離れた場合はどうなるのでしょうか? 「～ならなあ」という「ウソ」を前提とした表現(I wish + 仮定法)を考えてみましょう。



上の図で横線を時のライン、縦線を想像のラインだとすると、両ラインの交わる「原点A」は(現在、現実)である。I can play tennis now.「私は今、テニスができる」はこの「原点」に位置する。それに対し、昔を表す副詞yesterdayを含むI could play tennis yesterday.「私は昨日、テニスが出来た」は時のライン上で原点から「昔」に向って離れた位置Bにある。同様に点CのI wish I could play tennis.「テニスが出来ればなあ」も想像のライン上を「ウソ」に向かって離れている。「昔」で「ウソ」のI wish I could have played tennis yesterday.「昨日テニスが出来ていたらなあ」は二重に離れた位置Dにある。このように過去形は隔たりの目印である。

**[3] 仮定法過去、過去完了**

動詞、助動詞の過去形が「昔」と「ウソ」を表現することは既に述べた通りです。しかし、英語学習者は「仮定法」という言葉の意味を正確に理解しているのでしょうか？ 仮定法には仮定法過去と仮定法過去完了があります。しかし、この名前は仮定法過去では過去形が、仮定法過去完了では過去完了形（had + 過去分詞）が使われるので、そう呼ばれているにすぎません。意味が過去、過去完了というわけではないのです。

①**仮定法過去**：現在の事実とは反対のこと、つまり現在のウソを表現する。

形：「主語 + 動詞／助動詞の過去形（-ed 形、※ただし be 動詞は常に were となる）～」意味：「(現在)～ならなあ」  
 (例) You should do it. 「君はそれをすべきです」(「すべき」なのに実際はしていない)

②**仮定法過去完了**：過去の事実とは反対のこと、つまり過去のウソを表現する。

形：「主語 + had + 過去分詞～／助動詞の過去形 + have + 過去分詞～」意味：「(あの時)～だったらなあ」  
 (例) You should have done it. 「君はそれをすべきだったのに(実際はしませんでした)」

**[4] 仮定法過去、過去完了の用法**

仮定法を必ず要求する構文として、I wish / If only / Would that S+V / It is time / as if を紹介します。

①**I wish**「～ならなあと願う／だったらなあと思う」：実現していない／しなかった願望を表す。

(例 1) I wish I were younger. (仮定法過去「現在のウソ」)「もっと若ければなあ」

I am sorry that I am not young. (現実)「残念ながら、私は若くありません」

(例 2) I wish I had seen the movie. (仮定法過去完了「昔のウソ」)「その映画を見ていたらなあ」

I am sorry that I did not see the movie. (現実)「私はその映画を見なかったのが残念です」

②**If only**「～でさえあれば／あったらなあ」：実現しない／しなかった切実な願いを表す。

(例 1) If only my father were here. (仮定法過去)「父がここにいてさえくれればなあ」

I am very sorry that my father is not here. (現実)「父がここになくて、非常に残念です」

(例 2) If only you had let me know. (仮定法過去完了)「私に知らせてくれてさえいればなあ」

I am very sorry that you did not let me know. (現実)「君が知らせてくれなかったのがとても残念です」

③**Would that S+V**「～ならなあ／だったらなあ」：実現していない／しなかった願望を表すやや古い表現

(例 1) Would that it stopped raining. (仮定法過去)「雨が止んでくれればなあ」

I am sorry that it is raining now. (現実)「雨が今降っているのは残念です」

(例 2) Would that we had not done such a thing. (仮定法過去完了)「私達がそんなことをしなかったらなあ」

I am sorry that we did such a thing. (現実)「私達はそんなことをしてしまったのが残念です」

④**It is (high / about) time**「～する時間です／～して良い頃です」：high は「当然」、about は「もうそろそろ」のニュアンスを込める。現在かこれから先のことについて述べる形なので、仮定法過去のみが使われる。

(例) It is time we got started. (仮定法過去)「我々はもう出発しても良い頃です」

We have not got started yet. (現実)「我々はまだ出発していません」

⑤**as if**「まるで～である／あったかのように」：比喩的に類似性を述べる表現。実際は「ウソ」なので仮定法を使う。

(例 1) The city is very quiet as if it were dead. (仮定法過去)「その都市はまるで死んだように静かです」

The city is very quiet but it is not dead. (現実)「その都市はとても静かですが、死んではいません」

(例 2) He looked as if he had been tricked. (仮定法過去完了)「彼はまるで誤魔化されたかのようにでした」

He was not tricked. (現実)「その男は誤魔化されませんでした」

◇ ひたすらA ◇

I. 次の各文の ( ) 内に適する語を選びなさい。

1. I wish I ( ) a cat. ( am / are / were / be )
2. Bob spoke to me as ( ) he were my friend. ( unless / so / that / if )
3. It is time he ( ) up. ( get / gets / got / will get )
4. I ( ) you will join us. ( want / hope / would / take )
5. We ( ) it would snow tomorrow. ( hope / expect / want / wish )
6. ( ) that I were richer. ( As / Only / Wish / Would )

II. 次の各英文が日本文に合うように、( ) 内に適する語を書きなさい。

1. If ( ) you helped me. あなたが私を助けてくれさえすればなあ。
2. I wish I ( ) speak English. 英語を話すことが出来ればなあ。
3. It is ( ) we left here. 私達はもうここを出発してもいい時間です。
4. He acts as if he ( ) an adult. 彼はまるで大人のように振る舞います。
5. I wish he ( ) come with me. 彼が私と一緒に来ていたらなあ。

III. 次の各組の文がほぼ同じ意味になるように、( ) 内に適する語を書きなさい。

1. { I must go home right now.  
It is ( ) I went home.
2. { I am sorry I am so busy.  
I ( ) I ( ) not so busy.
3. { I am sorry you didn't tell me the truth.  
I ( ) you ( ) ( ) me the truth.
4. { I am very sorry that he is not here.  
If ( ) he ( ) here.

IV. 次の日本文に合うように、( ) 内の語を並べ換えなさい。

1. もっと速く走ることが出来ればなあ。  
( faster / I / run / only / could / if / . )
2. あなたはそろそろ勉強し始めてもいい時間です。  
( you / time / to / high / started / it / study / is / . )
3. ジムはまるで子供のように扱われています。  
( Jim / treated / he / as / child / is / if / a / were / . )

V. 次の英文を日本文に直しなさい。

1. I wish I had taken Mr.T's advice.
2. I wish my father were alive.
3. Mr.T looked as if he were ill.

write it down  
~ひたすらメモ~

チェックコーナー

① ② ③

/21 /21 /21

## ◇ ひたすらB ◇

I. 次の各文の ( ) 内に適する語を選びなさい。

- ( ) you stopped smoking. (If / If only / As if / As though)
- It is time I ( ) TV. (watch / watched / will watch / am watching)
- I wish Tom ( ) swim. (can / could / has / had)

write it down  
～ひたすらメモ～

II. 次の各英文が日本文に合うように、( ) 内に適する語を書きなさい。

- He looked pale ( ) ( ) ( ) ( ) ill.  
彼はまるで病気であるかのように顔が青白く見えました。
- I ( ) I ( ) ( ) a bus. バスに乗っていたらなあ。
- If ( ) Maki ( ) here. マキがここにいさえすればなあ。
- ( ) ( ) ( ) he ( ) lunch.  
彼はそろそろ昼食を食べてもいい時間ですが。
- ( ) that she ( ) like Jim. 彼女がジムを気に入ってくれればなあ。

III. 次の各組の文がほぼ同じ意味になるように、( ) 内に適する語を書きなさい。

- { Mr.T treated her like a baby.  
 { Mr.T treated her ( ) if ( ) ( ) a baby.
- { I wish my mother ( ) alive.  
 { I ( ) ( ) my mother ( ) not alive.
- { The children are still awake, though they should go to bed.  
 { It's high time the children ( ) to bed.
- { I am very sorry that Jane could not come.  
 { If ( ) Jane ( ) ( ) come.

IV. 次の日本文に合うように、( ) 内の語を並べ換えなさい。

- ルーシーはまるで日本人のように日本語を話します。  
(Japanese / Japanese / a / she / if / were / speaks / as / Lucy / .)
- 私達はそろそろ買い物に行く時間です。  
(time / went / it / about / we / is / shopping / .)

V. 次の英文の中から誤りを抜き出し、正しい形で書きなさい。

- It is time you had gone to bed. ( ) → ( )
- I wish I can speak English. ( ) → ( )

VI. 次の日本文を英文に直しなさい。

- T氏は病気だったように見えます。
- そろそろ私は寝る時間です。
- T氏の助言を聞いていたらなあ。

チェックコーナー

① ② ③

/19 /19 /19